

(活動報告書様式)

団体名	団体名 社会芸術ラボ ORINAS		
事業名	親子で学ぶ、五感型体験学習支援企画		
助成事業区分	協働助成事業 (テーマ希望型)【テーマ:ひとり親家庭支援事業】 団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	山形県山形市	事業費	1,053,922 円
		うち助成金額	1,000,000 円



■ 事業目的

近年様々な要因で、「ひとり親家庭」が増加。一人親の場合、経済的困窮、家事・育児のワンオペ(一人親が家事育児の全てを担う。)が、心身ともに大きな負担となっている。本企画では、様々な「ひとり親家庭」における問題の本質を問い直し、課題解決に向けての糸口を見出す機会
の創出となるプログラムを企画。鶴岡や山形県内の地域における、五感で学ぶ様々な体験学習の機会を通して、親子それぞれの学びの支援から、豊かな心を育むきっかけにつなげていく。そして、参加者同士、「学びを通して集い、持続可能な支え合う仲間づくり」のきっかけとする。

■ 実施内容

- 1.> ひとり親家庭の課題(子ども食堂)をテーマに意識調査調査を実施。
- 2.> SDGs 未来都市 鶴岡での学びと遊びの体験企画を実施。

- 3.> かみのやま地域散策と地域の福祉を語るコミュニケーションワークショップ企画
- 4.> 保護者対象の子育て就労支援講座とトークセッション
- 5.> 親子で楽しむ絵本の制作
- 6.> アートに触れる卒業展覧会鑑賞ツアー体験学習

■ 事業の成果及び今後の展望

1 事業の成果

- 1.> ひとり親家庭における具体的な課題とその解決策の糸口へのきっかけづくり
- 2.> 自由な発想でのびのびと遊びや創作を楽しむ体験学習企画(キッズドームソライ・だだちゃ豆収穫)を通して、ひとり親とその子どもがそれぞれ、充実した時間を過ごすことができるよう、学習支援者としての力量形成の醸成。
- 3.> オンラインミーティングでは、運営者と参加者同士、子ども食堂に関する様々な実態や課題を共有することで、ひとり親家庭支援として、地域の協働事業者とどのような

つながりをもてばよいのか、地域における教育格差のないひとり親家庭支援のあり方を問い直す良い機会になった(参加者の感想より)

2 今後の展望

- 1.> ひとり親家庭支援としての協働事業者の開拓と企画の充実を強化。
- 2.> 体験学習の企画の重要性の再認識と共に、共同事業団体との関係づくりの必要性を認識。今後の活動として注力し、様々な学びと体験を促す企画を推進。
- 3.> 絵本の企画や読み聞かせの場づくりを通して、ひとり親家庭の学習支援活動を推進。ひとり親家庭の親子それぞれの豊かな心を育む機会を創出する。

温かな関わりとコミュニケーションを探究する、もう一つの居場所「Hug Cafe」。山形の様々な地域や学校で展開していますのでお気軽にお声がけください。

<http://Hugcafe.jp>